

## enPiT PBL 説明シート

<b>PBL 名：</b> グローバルサービスアプリケーション開発コース
<b>主担当：</b> 土屋 陽介 <b>副担当：</b> 成田 雅彦、加藤 由花
<b>PBL テーマ：</b> グローバルな感性を生かしたインターネットロボットサービスの開発
<b>PBL 概要：</b> ブルネイやベトナムの大学と協力しながら、ロボットとインターネットを活用したサービスアプリケーションを開発する。 ミニ PBL では、遠隔会議によりそれぞれの国の文化や特徴を生かしたロボットサービスのアイデアを考案し、要求仕様書としてまとめる。 分散 PBL では、その要求仕様書を基に実機（ロボット）を使ったアプリケーション開発を協同で行う。 なお、ミニ PBL で考案したアイデアは今年 9 月に開催される RSNP コンテスト 2013 に応募する予定である。
<b>PBL の目的/受講者の到達目標</b> 様々な国の文化や特徴を生かしたロボットサービスを開発する。 国際的な開発プロジェクトを体験することで、世界を見据えたグローバル人材の育成を目指す その国の文化・特徴を理解し、グローバルな感性を身につける 企画～設計～開発までの一連のプロセスを修得する インターネットロボットサービスの開発を通して、Web 開発技術だけでなく、実機を使った開発技術も修得する
<b>受講のための前提知識（履修条件）</b> 必須条件ではないが、英語でのコミュニケーションがある程度可能であることが望ましい。 (英語コミュニケーションサポートのために専門の教員を用意する) (最低実施人数                      2 名                      最大実施可能人数                      8 名 )
<b>進め方（授業の計画）</b> 事前資料をよく読んで、1 回目の活動日までにロボットサービスのアイデアを考えておくこと。そして 2 回目の活動日までにプレゼン資料を作成しておくこと。 1. プロジェクトの立ち上げ 自己紹介、今後の PBL の計画についての説明、進め方についての意識合わせ 2. 各拠点からプレゼンによるアイデアの提案と相互評価 事前に考えておいたアイデアをプレゼンし、その評価をする

3. アイデアについての議論、アイデアの絞り込み  
アイデアの評価に基づき議論を行い、提案するアイデアを絞り込む
4. 実現可能性の検討、アイデアのブラッシュアップ  
サービスとして実現可能かどうかを検討し、アイデアをブラッシュアップする
5. 要求仕様書の作成  
考案したサービスを要求仕様書の形でまとめる
6. 要求仕様書の相互レビュー  
作成した要求仕様書のレニューを行い、内容をブラッシュアップする。
7. コンテストの応募準備  
コンテストに応募するために成果物の最終チェックをする

#### 自由記述欄

各種成果物に関して、あらかじめテンプレートを用意しておきます。それを基に完成させてください。

また、英語力に自身がなくても、英語でのコミュニケーションに意欲をもっている方であれば、歓迎いたします。